

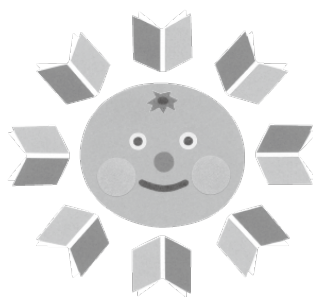
災害時における支援協力に関する協定書を締結しました



4月18日(水)、大規模災害発生時における、道路寸断などによる初動対応の停滞を打開し、迅速な救援を行うため、有田川町救援隊と「災害時における支援協力に関する協定書」を締結しました。

被災後の救援物資などの輸送や被災者の搬送、被災状況の情報収集などの協力を目的とし、被災者支援および災害応急活動を迅速かつ円滑に実施できることを期待しています。

「絵本のまち有田川」のロゴマークができました！



EHOH NO MACHI
ARIDAGAWA

絵本のまち
有田川

絵本作家ユニット tupera tupera 亀山達矢氏が図柄のデザインを担当し、デザイナーの竹藤智弥氏(DICTOM DESIGN)が文字を入れてロゴマークに仕上げました。

シンボルマーク部分では、有田川町の特産品の一つであるみかんと、「絵本のまち」らしく本を使って有田川町を表現。今後、このロゴマークを使用して、グッズ開発やPR活動などに取り組んでいきます。

絵本作家ユニット「tupera tupera」

亀山達矢と中川敦子によるユニット。絵本制作をはじめ、工作やワークショップ、舞台美術、雑貨など、さまざまな分野で幅広く活躍しています。

絵本「しろくまのパンツ」(ブロンズ新社)で第18回日本絵本読者賞を、「パンダ銭湯」(絵本館)で第3回街の本屋が選んだ絵本大賞グランプリを受賞。有田川町では、ちいさな駅美術館での原画展やワークショップを開催し、反響を呼びました。

平成30年全国広報コンクール(組み写真部)で 入選3席に



1. 児童福祉施設からの視察 2. 卒業や地域のイベントを祝って集まる子供たち 3. 慣れ親しんだお祭り 4. 5. 林道に子どもを誘導するボランティア 6. 児童の心を開くための活動 7. 地域の活性化を促す活動 8. 地域の活性化を促す活動 9. 地域の活性化を促す活動 10. 地域の活性化を促す活動 11. 地域の活性化を促す活動 12. 地域の活性化を促す活動 13. 地域の活性化を促す活動 14. 地域の活性化を促す活動 15. 地域の活性化を促す活動



1. 児童福祉施設からの視察 2. 卒業や地域のイベントを祝って集まる子供たち 3. 慣れ親しんだお祭り 4. 5. 林道に子どもを誘導するボランティア 6. 児童の心を開くための活動 7. 地域の活性化を促す活動 8. 地域の活性化を促す活動 9. 地域の活性化を促す活動 10. 地域の活性化を促す活動 11. 地域の活性化を促す活動 12. 地域の活性化を促す活動 13. 地域の活性化を促す活動 14. 地域の活性化を促す活動 15. 地域の活性化を促す活動

公益社団法人日本広報協会が実施する「平成30年全国広報コンクール」において、広報ありだがわ(平成29年4月号16～17ページ)が広報写真 組み写真部で入選3席(4位)に入りました。

広報コンクールとは、地方自治体の広報活動の向上を図る目的で、日本広報協会と各都道府県などの広報協会がそれぞれ行うものです。

該当の記事は、城山西小学校の休校を伝えるものでした。審査では、「地域とともに歩んできた小学校が少子化により休校になる。右下に思い切りよく子ども歌舞伎の写真の切り抜きを使ったことで、小学校のサブカルチャーとして受け継がれたことが分かる紙面になっている。休校式では、少ない児童の合唱や、卒業生であろうか、別れを惜しむ表情から休校の寂しさが伝わってくる」と講評をいただきました。

全国広報コンクールにおいて、有田川町が入選するのは7年ぶり。組み写真部に関しては初の入選となります。